

～ 研究に関するお知らせ ～

横浜医療センター麻酔科では、下記の研究を行います。

「気管分岐から上大静脈右心房接合部までの距離の測定」

この研究は、条件を満たす患者さん全員を対象といたします。情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、最終ページに記載のお問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

■ 研究の対象となる患者さん

病気の治療にあたって点滴が必要になることがあります。点滴の内容によっては肘または腕から長めの管を入れる必要があります。これを末梢挿入式中心静脈カテーテル (PICC) といいます。

本研究は2023年4月1日から2024年3月31日までに、当院において麻酔で末梢挿入式中心静脈カテーテル (PICC) を実施した患者さんを対象とします

■ 利用する試料・情報の種類

上記の対象期間中に、診療録に記録された診療情報を研究に使用させていただきます。使用に際しては「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、個人情報は厳重に保護した状態で行います。

■ 研究の概要

• 研究の目的及び意義

末梢挿入式中心静脈カテーテル (PICC) を入れる場合、その先端位置としては上大静脈と心臓の接合する部位、または、上大静脈の足側1/3が適切とされています。しかし通常使用しているレントゲンではその位置は判定できません。当院麻酔科では心電図を併用して上大静脈と心臓の接合部の位置を確認していますので、正確にその位置を確認し、適切に末梢挿入式中心静脈カテーテルを入れることができます。

透視で確認できる気管分岐部から上大静脈と心臓 (右心房) の接合部までの距離が分かれば 今後透視での末梢挿入式中心静脈カテーテル (PICC) 挿入に有用な情報がえられます。

• 研究の期間

倫理審査委員会承認日～2025年3月31日

- 研究の方法

当院は末梢挿入式中心静脈カテーテル（PICC）を入れる時に レントゲン（透視）と心電図法を併用しています。したがってカテーテルを入れる際、気管から上大静脈が心臓と接する位置まで何cmあるか わかります。このデータを集め検討します。特別な処置はありません。

- 外部への情報等の提供、個人情報等の取り扱い

この研究で得られた情報は、あなたを特定できる情報（氏名、住所、電話番号等）は記載せず、本研究固有の症例番号（症例毎に採番）にて管理します。症例番号とカルテ患者 ID 等の対応表データを別途作成します。作成する対応表データはパスワード保護の上、研究責任者が厳重に管理します。

この研究の成績をまとめて学会発表や学術論文として公表されることもありますが、いずれの場合もあなたの名前等の個人的な情報は一切公表されません。また、この研究で得られたデータが、この研究の目的以外に使用されることはありません。

- 研究の資金源

なし

- 利益相反に関する状況

本研究における、開示すべき利益相反は特にありません。

※ 臨床研究における利益相反とは

「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

■ 研究の実施体制

研究代表者：横浜医療センター 麻酔科 山田 宏

研究分担者：横浜医療センター 麻酔科 菅原泰常、大川卓巳、中易夏子、奥山志織
野島優佳、北嶋宏輝、齋藤真作、末廣かれん

横浜市立大学附属病院 麻酔科 角 祐介

厚木保険事務所 大和センター 井上真光人

■ ご質問等について

本研究に関するご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

<お問い合わせ先>

独立行政法人国立病院機構横浜医療センター

麻酔科 手術部長 山田宏

〒245-8575 横浜市戸塚区原宿 3-60-2

電話 045(851)2621 (代表) ※平日 08:30 ~ 17:15